

校務D X計画

令和 8 年 6 月 滋賀県近江八幡市

本市では平成 31 年度から教職員を取り巻く働き方の一環として校務系システムを導入し、改善を図ってきたところである。当初はオンプレミスによる境界型制御による校務系ネットワークの構築を行ってきたが、機器の老朽化やネットワーク環境の変化、特にランサムウェアなどの脅威に対する対応が現在の機器では不十分であることから、令和 7 年 8 月末までに校務系システムの更新を行った。今回の更新では、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている項目の実現を目指し、①校務・学習系ネットワークの統合 ②ゼロトラスト導入によりオンプレミス方式からクラウド方式への更新 ③校務支援システムの更新の 3 点を主に行うことで、教職員のさらなる働き方の改善を図った。更新に当たり改善を図った主な項目は以下のとおり。

- ① 校務・学習系ネットワークの統合により、学内だけでなく、市内他校や教育委員会でのネットワーク活用を行うことで場所を問わない業務の実現を図る。
- ② クラウドサービスを活用することで、データの共有を円滑化し、ペーパーレス化、FAX 利用の見直し及び押印の省略等を推進する。
- ③ ゼロトラスト導入のために使用する Microsoft 365 の機能を活かし、教職員間の連絡や会議をチャット又はオンラインで実施し、業務の効率化を促進する。
- ④ 更新に合わせ、次世代の校務支援システムを導入することで、出欠管理、成績処理、保健管理等の作業の削減及び不必要な手入力の一掃を目指し、校務処理の効率化を図る。また、保護者連絡機能等を活用し、欠席連絡や各種配布文書の電子化を進めることで、保護者との連携強化及び教職員の負担軽減を図る。
- ⑤ 校務支援システム更新にあわせて学校を取り巻く各種データを整理・統合・分析を行うためのダッシュボード機能を導入し、学校データの利活用による効果的な業務の推進を図る。
- ⑥ 校務系システム更新に合わせて、既存の学校情報セキュリティポリシーの更新を行った。